

令和5(2023)年度  
文部科学省 寄附フォーラム

# 多様なステークホルダーに 応じた寄附募集活動

北海道大学理事（資産管理運用統括）菅原 修孝



# 光は、北から

1876-2026

国立大学法人



北海道大学

## 学部 (12)

- ・文学部
- ・教育学部
- ・法学部
- ・経済学部
- ・理学部
- ・医学部
- ・歯学部
- ・薬学部
- ・工学部
- ・農学部
- ・獣医学部
- ・水産学部

## 学院等 (21)

- ・法学
- ・水産科学
- ・環境科学
- ・理学
- ・農学
- ・生命科学
- ・教育学
- ・国際広報メディア
- ・観光学
- ・保健科学
- ・工学
- ・総合化学
- ・経済学
- ・医学
- ・歯学
- ・獣医学
- ・医理工学
- ・国際感染症学
- ・国際食資源学
- ・文学
- ・情報科学
- ・公共政策学

## 研究所・センター・学内共同施設 (25)

国際連携研究教育局・運営組織等

国立大学法人



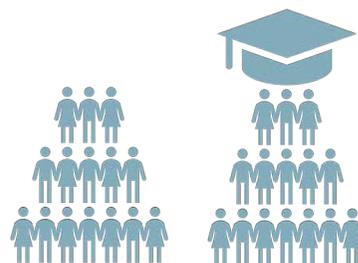
北海道大学

教職員数



4,000 人

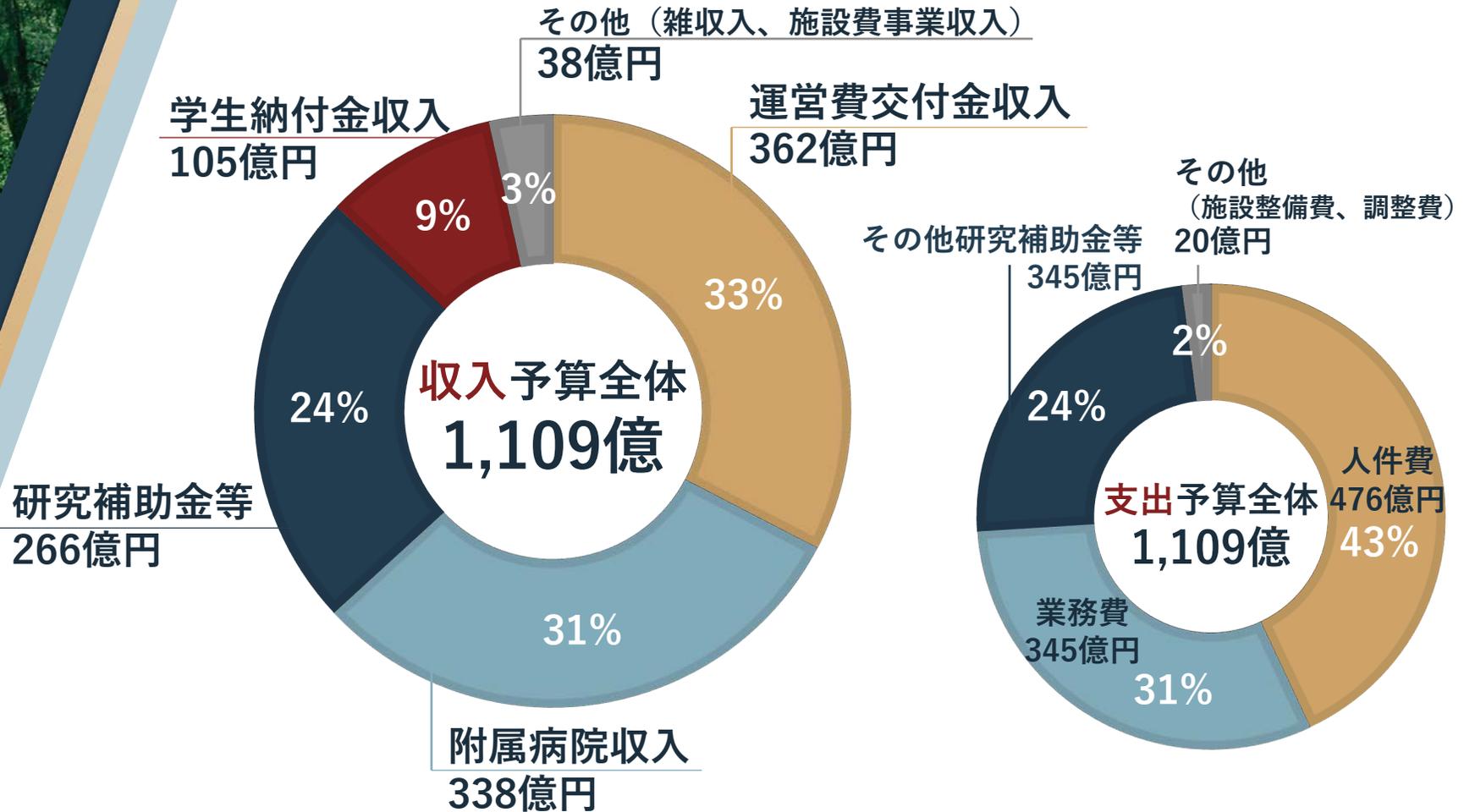
学生数（学部・大学院合わせて）



18,000 人

# 令和5(2023)年度 収入・支出予算は、

## 約1,109億円



令和4(2022)年度 寄附金収入

約27億円

うち、北大フロンティア基金

約5億円

令和4(2022)年度 外部資金受入

区分	件数	受入金額
共同研究	784件	24億9,322万円
受託研究	727件	84億9,720万円
補助金等	3,279件	124億 963万円
科学研究費助成事業	3,044件	64億4,261万円
大学改革補助金	109件	57億9,470万円
厚生労働科学研究費補助金	70件	1億1,886万円
その他助成金等	56件	5,345万円
その他受託事業等収入	—	20億6,723万円
寄附金収入	6,508件	27億3,797万円
合計		282億 527万円

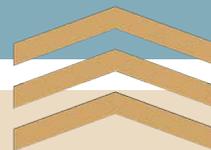
## 本学の寄附募集活動の目的

多様かつ強固な財源の拡大による

自律的経営

「人材・知・資金の好循環」による

持続的成長



### 北大フロンティア基金の増大

- クラウドファンディングの活用
- ステークホルダーとのネットワーク強化 など

# 北大フロンティア基金の概要

平成18(2006)年10月  
 北大創基130年を機に創設

## 【目的】

教育研究の一層の充実を図り、  
 自主性・自立性を発揮して  
 大学としての使命を果たすこと



The screenshot shows the website for the Hokkaido University Frontier Fund. The main banner features the 150th anniversary logo and the text '北海道大学 創基150周年記念募金 (北大フロンティア基金)'. Below the banner, there is a section titled '2026年、北海道大学は創基150周年を迎えます。' (In 2026, Hokkaido University will celebrate its 150th anniversary of founding.)

Multiple text blocks describe the fund's purpose and goals, including supporting various university activities and contributing to the university's mission. A table provides financial details:

受付期間	2026年度まで
累計寄附総額	211,463,311 円
目標額	5,000,000,000 円

At the bottom, a grid lists various support categories with corresponding icons:

- 大学全体を応援する (使途を特定しない資金)
- 国際連携を応援する
- 学部・大学院等を応援する
- 卒業生連携を応援する
- 特定プロジェクトを応援する
- 学生を応援する
- 後輩学生を応援する (北大みらい投資プログラム)
- 研究者を応援する
- キャンパスの維持・保全を応援する
- 社会貢献活動を応援する
- クラウドファンディング

## 北大フロンティア基金の概要

[創設時－令和4(2022)年度] 17年間の寄附受入累計

累計件数

**37,764件**

累計金額

**約63億円**



令和4(2022)年は  
目標額の3億円を上回る  
4億8千万円達成

# 北大フロンティア基金の概要

令和4(2022)年度 受入状況

**合計4,856件 5億5,250万円**

特定資金 (用途/メニューを指定)

**4,331件 4億7,726万円**

一般資金 (用途を特定せず、大学全体を支援)

**525件 990万円**

運用利息

**6,534万円**

特定資金

一般資金

運用利息

# 北大フロンティア基金の概要

令和4(2022)年度  
受入状況

特定資金（用途/メニューを指定）合計

**4,331件**      **4億7,726万円**

内訳	件数	寄附額
学部等支援	2,283件	3億 356万円
学生支援	1,203件	7,459万円
修学基金	278件	1,808万円
ポスドク等研究者支援基金	38件	89万円
施設・環境整備支援	330件	7,354万円
研究支援	89件	405万円
新渡戸カレッジ支援	47件	83万円
国際連携支援	39件	146万円
社会貢献活動支援	20件	12万円
卒業生との連携支援	1件	1万円
産業界との連携支援	3件	13万円

教職員の賞与時期  
に呼びかけ

各学部・大学院の  
教育研究の充実に活用

学生を支援

特定資金

一般資金

運用利息

# 北大フロンティア基金の概要

 令和4(2022)年度  
 受入状況

令和4(2022)年度 寄附者内訳 合計

**4,856件**      **5億5,250万円**

内訳		件数	寄附額
法人等	北大の教育研究に期待	285件	2億 672万円
卒業生	同窓生の皆様の母校への思い	2,112件	1億 497万円
元教職員		136件	2,075万円
教職員		1,320件	2,698万円
学生保護者		232件	474万円
その他	研究者の個別研究に期待	771件	1億2,300万円
運用利息			6,534万円

特定資金

一般資金

運用利息

# 北大フロンティア基金の概要

北大の教育  
研究に期待

大切に有効活用することが  
皆様へのなによりの御礼

活動報告書

を毎年発行

ご支援の継続

- ・ 寄附金の使途の報告
- ・ 支援を受けた学生や研究者からの謝意



学生育成の活動から



コロナ禍での  
食料支援の報告



返礼品の紹介

謝意

感謝の声

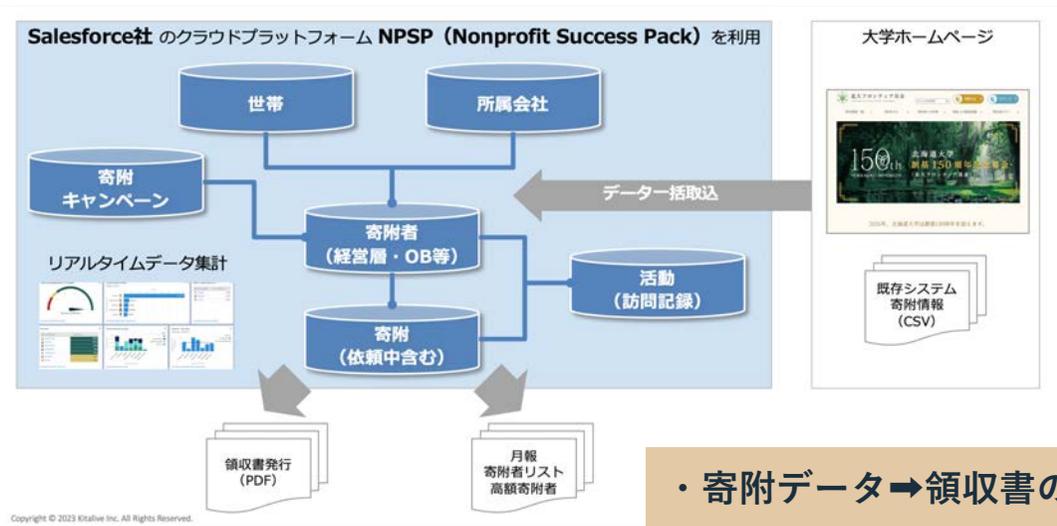
この度は、奨学金を授与いただき本当にありがとうございました。私自身、家庭の事情で修学を続けることができており本当に感謝しております。新渡戸カレッジの学習目標でもあるグローバルリーダーとして活躍できるように、この度のご厚意を存分に活用して、自分の学習活動に一層打ち込んで行く所存でございます。また、将来本基金や新渡戸カレッジに寄附者もしくはメンターとして貢献できるような人材となり、将来の後輩育成に携わっていく形で、この度のご厚意を還元できればと考えております。重ねてお礼申し上げます。  
豊田 章一郎

I would like to thank the respected Frontier Foundation sponsors from the bottom of my heart for selecting me as a recipient for the Nitobe Scholarship. After receiving the scholarship, my quality of life has improved considerably and I have been able to allocate more time to towards my classes and career instead of focusing on my part-time job. I was able to get a Scuba Diving License using a part of the funds and this will aid me in getting better samples for my research and kickstarting my career. Once again, I am grateful to the sponsors for this opportunity and will do anything I can in order to promote Nitobe College so that students will continue to have this opportunity in the future as well.  
Rajagopal, Ranjan



# 北大フロンティア基金 〈独自のシステム〉

システム概念図 寄附に最適化された基盤を利用してシステムを構築



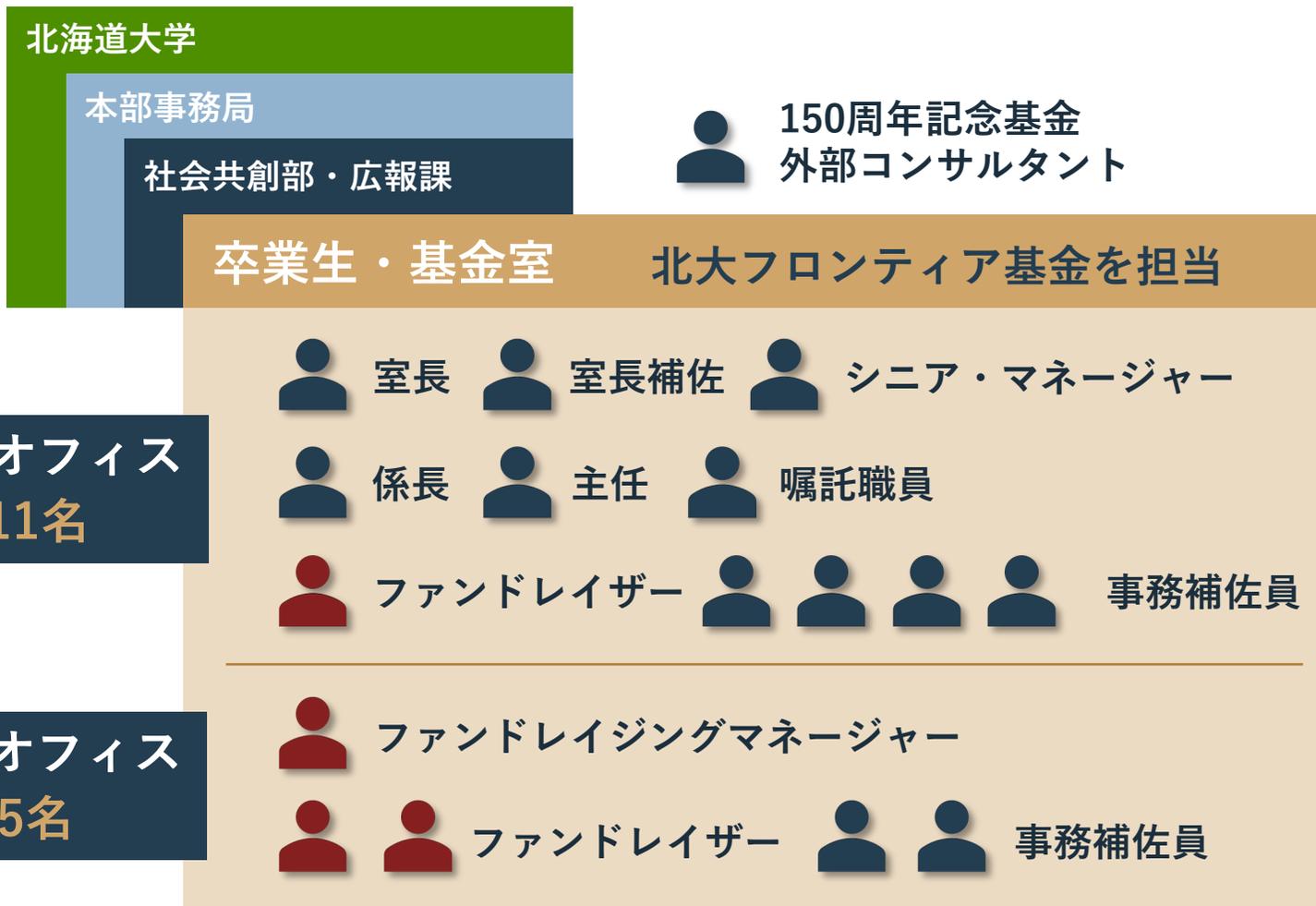
業務の効率化を実現

- ・ 寄附データ → 領収書の発行、謝意の管理
- ・ 日報、月報、決算、会議資料など報告資料の作成
- ・ 寄附の状況に適したお礼送付状の発行

## 特徴

- ・ Salesforce社のプラットフォームを利用
- ・ 寄附データ、寄附者のデータ、本学の活動記録などを管理
- ・ リアルタイムでデータ集計 → ファンドレイザーの活動に活用
- ・ 寄附者のフォローに加え、新たな寄附者との出会いづくりにも活用

# 北大フロンティア基金の組織体制



- ・ ファンドレイザーの人数に比例して財務基盤強化（寄附金の増収）に繋がる傾向
- ・ 創基150周年事業の寄附目標50億円を達成するうえでも欠かせない中核的な人材

特色ある寄附メニュー

## エルムの森プロジェクト

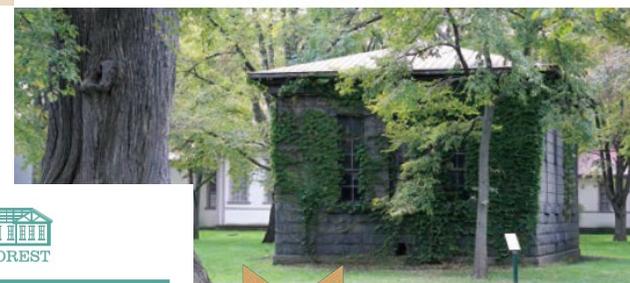
「旧昆虫学及養蚕学教室」と「旧昆虫標本室」を保存改修し、  
北海道ワイン教育研究センター棟として再生利用

(令和5(2023)年3月募集終了)

旧昆虫学及養蚕学教室



旧昆虫標本室



PROJECT ELM FOREST

旧昆虫学及養蚕学教室

旧昆虫標本室

北海道ワイン教育研究センター棟

北海道ではこの10年間で  
ワイナリー数は約3倍に！  
北海道のワイン産業振興のため  
に、研究開発と人材育成、生産  
者や研究者、経済産業界等の多  
様な人材が集まる「場」を創設。  
1年間で企業を含む多くの皆様か  
らご賛同いただいた。



特色ある寄附メニュー

## 水産学部学生応援プロジェクト

国内外の水産・海洋関連分野において、今後活躍が期待される学生たちの学びの環境を維持し、さらに充実させるため

水産学部らしいユニークな返礼品が特徴。練習船のおしよろ丸カレーが入った詰め合わせセットや、うしお丸の卓上クリアプレートなど。



おしよろ丸カレーの  
入った詰め合わせセット



卓上クリアプレート

## 北の森林（もり）プロジェクト

SDGsに貢献する「森林の再生」「二酸化炭素の吸収」  
「生物多様性・生態系の保全」のため。

総面積は約7万ヘクタール、日本の国土面積の約500分の1に相当。  
世界有数の規模を誇る野外フィールドは、原生林を含む森林や河川、  
希少種を含む多様な動植物が存在している。

返礼品がユニーク。森林の再生の様子や、長期モニタリングの結果などを、定期的にお知らせする。



特色ある寄附メニュー

## 北海道大学起業家育成基金

本学での学びや研究を活かした起業家を育成するための基金  
起業に挑戦する人たちを [つながり] [ノウハウ] [施設や経済面]  
からサポート

◎基金の用途 基金は以下のような支援・教育に役立っています。

アントプレナー教育・  
育成事業の充実

アントプレナーに係る  
学生プロジェクトへの支援

大学発ベンチャー設立等  
スタートアップへの支援



## 寄附獲得に向けた取り組み

### 遺贈セミナー、寄附者懇談会

寄附者みなさまのご意思とご厚意に応えるべく、  
さまざまな機会を設けている。

#### 遺贈セミナー

貴重なご遺贈を、安心してお譲りいただくため、  
ホームカミングデーでセミナーを開催。遺贈案内  
とオリジナルのメモリアルノートを配布。



東京会場

札幌会場



#### 寄附者懇談会

高額寄附者のみなさまをご招待した懇談会を札幌と東京で開催。支援を受けた学生から、直接感謝の気持ちを伝え、寄附金の活用内容についての報告や、教職員との懇談の場を設けている。



## 多様な寄附メニュー

### 北大クラウドファンディング

本学の研究者が個別に立ち上げたプロジェクトへの寄附。  
令和4(2022)年9月クラウドファンディングプラットフォーム大手のREADYFOR株式会社と包括契約を締結。寄附型のプロジェクトを立ち上げ、令和5(2023)年6月現在、10件のプロジェクトを成立。約8,300万円の寄附を獲得。

### 寄附型のプロジェクト

本学の研究者による個別の課題解決の意義に共感された方からの寄附やメッセージは、課題に立ち向かう研究者の気持ちの支えとなる。また、自身の研究と社会貢献の繋がりを深く考える良い機会となる。



# 多様な寄附メニュー

## 「大学応援プロジェクト」が創設

札幌市では、令和4(2022)年11月から、ふるさと納税（個人版・企業版）の寄附先として支援先の大学を指定可能とする仕組み「大学応援プロジェクト」を創設。本学も支援先大学として指定が可能。

### 法人版



**企業版ふるさと納税**  
**「大学応援プロジェクト」**  
を通じて北海道大学へのご支援が可能となりました

このたび、札幌市において企業版ふるさと納税の寄附先として支援先の大学を指定可能とする仕組み「大学応援プロジェクト」が創設されました。本制度を通じて北海道大学をご支援いただくことが可能です。

いただいた寄附金は北海道大学が行う公共的な取組への支援に充てられます（※一部は札幌市内の大学連携事業（本学も参画）の促進等に活用）。北海道大学では本支援により札幌圏の将来を担う人材の育成・定着や地域の課題解決・活性化などの取組を行う予定です。ぜひ北海道大学の発展及び学生支援のため、企業版ふるさと納税を通じてご支援をよろしくお願いいたします。

**北海道大学を指定した支援の流れ**

- ① 企業の皆様  
企業版ふるさと納税による札幌市への寄附
- ② 札幌市  
寄附金の受領
- ③ 北海道大学  
支援金受領（次年度以降）

例：1,000万円ご寄附いただくとき、最大約900万円の法人版納税が軽減\*（詳しくは裏面参照）

### 個人版(ふるさとチョイス)



札幌市への  
**ふるさと納税**で  
**北海道大学**  
を応援しませんか

このたび、札幌市においてふるさと納税の寄附先として支援先の大学を指定可能とする仕組み「大学応援プロジェクト」が創設されました。本制度を通じて北海道大学をご支援いただくことが可能です。

いただいた寄附金は北海道大学が行う公共的な取組への支援に充てられます（※一部は札幌市内の大学連携事業（本学も参画）の促進等に活用）。北海道大学では本支援により札幌圏の将来を担う人材の育成・定着や地域の課題解決・活性化などの取組を行う予定です。ぜひ北海道大学の発展及び学生支援のため、ふるさと納税制度を通じてご支援をよろしくお願いいたします。

**北海道大学を指定した支援の流れ**

寄附者の皆様 札幌市 北海道大学

ふるさと納税による 寄附金による 支援金受領 (次年度以降)

※ 寄附額のうち2,000円を超える部分については、一定の上限まで所得税と住民税から戻金として金額が控除されます。  
※ ご寄附いただいた金額に応じて、札幌市から返礼品を贈呈いたします。  
※ 返礼品の贈呈は送料にお住まいの交付地です。

ご寄附については  
ふるさと納税ポータルサイト  
「ふるさとチョイス」で  
受け付けております。または  
ふるさとチョイス 札幌市

またはこちらのQRまで  
（ご寄附先から外部リンク先へ）

お問い合わせ先  
札幌市ふるさと納税課  
（総務局総務部企業連携推進課）  
TEL: 011-211-2347  
Mail: kikikaku@city.sapporo.jp

※ 北海道大学の取組については、北海道大学社会貢献推進課 TEL: 011-706-0700 Mail: info@lib@hokudai.ac.jp

この寄附金により、札幌圏の将来を担う人材の育成・定着や地域の課題解決・活性化などの取組を行う予定。

# 令和8(2026)年 創基150周年



## 創基150周年記念事業

「光は、北から」を合言葉に、創基150周年記念事業を推進。  
光が三原色から成り立つように、本学は、Sustainability(150年先の未来を守るために)、Innovation(世界の課題解決に向けて)、そしてDiversity(多様性にひらかれた教育・研究の場)の3つのテーマを一体として推進することで、より明るい社会の実現を目指す。

創基150周年記念特設サイトを開設。記念事業や関連イベントなど、掲載情報を随時更新し、機運醸成を図る。



## 創基150周年記念募金の目標

50億円

### 創基150周年記念募金の募集開始

次の150年を見据えた記念事業のため、令和5(2023)～令和8(2026)年度の4年間、北大フロンティア基金は「創基150周年記念募金」として大規模な寄附募集を展開。

創基150周年記念特設サイトと連動して、創基150周年記念募金サイトも開設し、学内外に支援を募集。

令和5(2023)年度から、創基150周年を迎える令和8(2026)年度までに、目標額50億円の達成を目指す。



## 創基150周年記念募金の特別謝意

北海道大学創基150周年を記念した銘板を用意

個人・法人共通で累計が、

1億円以上	プレミアムゴールド
1,000万円以上	ゴールド
500万円以上	シルバー
100万円以上	ブロンズ

銘板は、個人・法人ともに、  
これまでの寄附累計金額を  
もとに掲出。

寄附者名 (個人または法人)	プレミアムゴールド 累計1億円以上のご寄附
寄附者名 (個人または法人)	ゴールド 累計1,000万円以上のご寄附
寄附者名 (個人または法人)	シルバー 累計500万円以上のご寄附
寄附者名 (個人または法人)	ブロンズ 累計100万円以上のご寄附

## 目標額達成に向けた取組

### 卒業生との連携プラットフォーム [ELM TREE]

令和5(2023)年5月より、大学と卒業生をつなぐプラットフォームとして、「ELM TREE(エルムツリー)」を稼働。卒業生を対象に登録案内を開始。

登録者に本学や同窓会の最新の情報を配信。特典として、ELM TREE限定のコンテンツを提供。ELM TREEを活用して、募金活動の活性化も期待。



## 今後の課題

### 寄附金収益の割合を上げ、財務体質の改善

本学は、「経常収益に対する寄附金収益の割合の平均値（2017～2021年度）」が全国立大学中39位であり、今後も継続的により多くの寄附金を集めて使う財務体質へ改善する必要がある。

### ファンドレイザーの組織化、増員が最優先課題

ファンドレイザーは、人数に比例して寄附金の増収に繋がる傾向がある。本学の規模感では、より多くのファンドレイザーが必要。それを支援する事務体制の強化を検討。

これにより150周年記念募金で経験したノウハウの継承や、蓄積した寄附金データの長期的な更新管理が可能となると考えている。

ご清聴ありがとうございました

## 本発表に関するお問合せ

北海道大学 社会共創部広報課 卒業生・基金室

〒060-0809

北海道札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学 百年記念会館内

Tel: 011-706-2017 Fax: 011-706-2010

E-mail: [kikin@jimu.hokudai.ac.jp](mailto:kikin@jimu.hokudai.ac.jp)

## 北大フロンティア基金

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/>

